

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11)特許出願公表番号

特表平11-501950

(43)公表日 平成11年(1999)2月16日

(51)Int.Cl. <sup>8</sup>	識別記号	F I
A 6 1 K 45/06		A 6 1 K 45/06
9/28		9/28
31/44		31/44
33/08	A C J	33/08
33/10		33/10
		Z
		A C J
審査請求 未請求 予備審査請求 未請求(全 42 頁) 最終頁に続く		

(21)出願番号 特願平9-525131  
 (86) (22)出願日 平成8年(1996)12月20日  
 (85)翻訳文提出日 平成9年(1997)9月5日  
 (86)国際出願番号 P C T / S E 9 6 / 0 1 7 3 7  
 (87)国際公開番号 W O 9 7 / 2 5 0 6 6  
 (87)国際公開日 平成9年(1997)7月17日  
 (31)優先権主張番号 9 6 0 0 0 7 1 - 6  
 (32)優先日 1996年1月8日  
 (33)優先権主張国 スウェーデン (S E)

(71)出願人 アストラ・アクチエボラーグ  
 スウェーデン国エス-151 85 セーデル  
 テイエ (番地なし)  
 (72)発明者 デビユイ, エレン  
 スウェーデン国エス-416 62 イエーテ  
 ボルイ, ヴラーンゲルスガタン 7 ベー  
 (72)発明者 ハツルグレン, アグネータ  
 スウェーデン国エス-431 38 ミヨルン  
 ダール, ヒョーケゴールツガタン 2 セー  
 (74)代理人 弁理士 高木 千嘉 (外2名)

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 プロトンポンプ抑制剤および制酸剤またはアルギネートを含有する経口用医薬剤形

## (57)【要約】

酸感受性プロトンポンプ抑制剤および制酸剤またはアルギネートの1種以上を固定製剤中に含有し、プロトンポンプ抑制剤が腸溶性コーティング層およびプロトンポンプ抑制剤と腸溶性コーティングとの間にある任意の分離層により保護されるような、経口用製剤である。固定製剤は多層錠剤、サシェ剤またはマルチプルユニット錠剤剤形の形態である。マルチプルユニット錠剤剤形が最も好ましい。新しい固定製剤は胸焼けのような消化不良に関わる疾患の治療において特に有用である。

